

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式 2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	7月16日	水道局	総務課	企画係	-	-	-	2水総02	2

業務名称	企画係業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	健全な企業経営(財務、人事、工事信頼性)ができる	市民反応(信頼、好感)				
担当業務目的	健全な経営を行うため、水道事業経営に関する企画調整を行う	内部的業務			6	11,119

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 事業計画を適切に進行管理する					水道事業は、給水サービスの対価として支払われる水道料金により事業を運営する独立採算性の事業であり、事業経営に当たっては、中・長期的な水需要の動向を見極めながら適正規模の施設整備を行うとともに、費用と収入のバランスを考慮しながら、効率的な経営に努める必要がある。このため、平成10年に見直しをした「水道事業基本計画」に基づき5年ごとの実施計画を策定し、毎年ローリングしながら進行管理をしている。 進行管理に当たっては、ヒアリングにより各事業計画の進捗状況や見直しの方向性などを把握すると共に、市の総合計画や周辺町村と協議を行っている広域化計画とも整合を図りながら、事業の優先性や必要性を十分に考慮して行っているところである。 17年度以降は、雄和町の上水道区域を秋田市の給水区域に編入するための事業認可の変更について、厚生労働省と協議すると共に、これに併せ水道事業基本計画の見直しについても検討する必要がある。
局内評価					
各事業計画の見直しをする 各事業の進捗状況を把握する 水道事業の認可変更を行う 市総合計画との整合を図る 広域化計画との整合を図る					

活動概要 (担当業務目的達成のための手段 (2桁レベル))			実績(H15)	目標(H17)	事業費 (千円)	備考欄
活動における指標		担当業務目的達成のための主な手段 (4桁レベル)				
02 水道事業について利用者に理解してもらう					6,849	水道モニター制度の運用 水道利用者の意見、要望、苦情などを把握すると共に、水道事業に対する理解を深めてもらうため、25名に委嘱。毎月の報告書提出の他、年3回モニター懇談会を開催。(平成17年度以降は、河辺、雄和との合併や下水道部との統合に伴い、運用方法を検討する必要がある。) 広報あきたに「水道のひろば」を掲載 4ページ/回および2ページ/回をそれぞれ年に2回ずつ掲載し、水道事業の予算、決算、水質検査結果など、様々な情報を提供。(合併、上下統合により、周知すべき情報量が増加することから、広報誌のあり方について検討が必要。) 各種パンフレットの作成 水道施設のパンフレットを作成し、施設見学者などに配布。(一般用:1000部、小学生用:3000部) 統計年報の作成 毎年300部を作成 水道週間行事によるPR 6月1日～7日までの水道週間に、PRイベント「水道ふれあいフェア」や「水に関するポスター展」給水装置の無料点検」等を実施し、水道事業についてPRする。 水道教室の開催 8月(親子向け)、10月(一般向け)の2回開催。 施設見学、漏水探知、水抜き栓操作、メーター検針などの体験をとおし、水道の仕組みを学ぶことにより、水道事業に対する理解を深めてもらう
水道に関心を持った人の率			50%			
利用者が知りたいと思っている情報を調査する 利用者に情報をわかりやすく提供する						
03 業務の効率化を図る					3,070	水道局では、管路情報や料金情報など日常の業務で扱う情報に個人情報が多く含まれていることから、市役所の行政情報ネットワークとは別に局内でイントラネットを構築し、配水量、給水収益、管路情報、給水管情報、料金情報、事業統計数値などの情報を共有することにより、業務の効率化に努めている。 今後は、浄水場における水質情報、配水量の経時変化なども共有化する予定である。
時間外勤務の減少						
情報の共有化を進める						
04 通水100周年を水道事業の更なる出発と位置づけ、市民と共に水道100年の歴史を振り返りながら、次の100年へつなげるような記念事業を実施する					1,200	局内に「秋田市水道100周年記念事業実行委員会」を設置すると共に、下部組織として「行事施設」広報・出版」の3つの専門部会を設け、実施内容を検討中。 現時点での実施内容(案)は次のとおり。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>記念行事</p> <p>1)水道100周年記念式典 2)水道100周年展 3)全国的行事の誘致 ・日本水道協会第75回全国総会(平成18年10月)……正式決定 水道週間中央行事(平成19年6月)……日水協より打診 4)水道ウォーキングラリー</p> <p>記念施設</p> <p>1)記念碑の設置 2)記念植樹 3)記念公園(藤倉水源地の公園の整備) 4)水道記念館(仮称)の設置(仁井田浄水場旧フィーダー盤室) 5)技術研修棟の整備(仁井田浄水場旧脱水機棟)</p> <p>広報・出版</p> <p>1)キャラクター、ロゴマークの製作 2)水道100周年ポスターの製作 3)100周年記念ビデオの製作 4)水に関する作品のコンクール 5)水道水のペットボトルの製作、配布 6)水道100年史の編纂</p> </div>
局内評価						
記念行事の準備を進める 記念施設を整備する 広報・出版に関わる作業を進める						